

第6学年 〔单元名〕 Lesson5 What country do you want to visit ?

P 〔単元の目標〕

行きたい国について伝え合ったり、旅行案内を作成し、行きたい国のよさについて紹介したりすることができる。

D 〔単元の目標の達成に向けた手立て〕

	手立て	資料
①	正しい英語の表現を身に付けるため、既習の言葉や表現を繰り返し活用するよう単元計画を工夫する。	①
②	学習意欲を高めるため、1人1台端末を活用して行きたい国の特徴やよさを主体的に調べる活動を設定する。	②
③	外国への興味・関心を高めるため、様々な国の特徴やよさについて、社会や世界、他者との関わりに着目して捉えることができるよう、A L Tを効果的に活用する。	③

C

〔単元の目標の達成状況〕

- ・自分が行きたい国について学習した表現などを使って友だちやA L Tと互いに伝え合うなど、主体的に取り組むことができた。
- ・1人1台端末を活用し、単語を調べたり発音を確かめたりすることにより、表現の幅を広げることができた。
- ・英語に苦手意識がある児童も積極的に学習に取り組む姿が見られた。

A

〔改善の方向性〕

- ・行きたい国を伝え合うことに終始したことから、行きたい国のよさについて詳しく調べる時間を確保するとともに、教科等横断的な視点から活動を工夫する必要がある。





単元の目標の達成に向けた手立ての具体

①正しい英語の表現を身に付けるため、既習の言葉や表現を繰り返し活用するよう単元計画を工夫する。

〔児童の活動〕

○教科書の学習活動を通して、正しい英語の表現に慣れ親しむ。

○行きたい国のよさをわかりやすく伝える表現を考え、ワークシートに書き込む。

Date 月 日	Name 名前	Grade 年	Class 組	Number 番
Lesson 5				
What country do you want to visit ?				
country				
1. I want to visit _____ .				
2. I want to ~				
 see	 eat	 buy	 go to	 try
2-1. I want to _____ .				
2-2. I want to _____ .				



〔教師の指導〕

○教科書の手本を紹介し、単元のゴールの具体的なイメージや見通しをもたせる。
○児童が自分の課題に合わせて学習者用デジタル教科書で、必要な表現を繰り返し聞いて練習する時間を確保する。

○ALTと連携し、児童のワークシートを確認し、よりわかりやすく伝える表現を紹介する。



〔工夫点〕

○正しい英語表現に慣れ親しむために、行きたい国のよさを伝える表現を、単元計画に意図的・段階的に繰り返し位置付ける。

○単元末に、伝え合う喜びや自らの学びを実感できるよう、振り返りの場面を設定する。

単元の目標の達成に向けた手立ての具体

②学習意欲を高めるため、1人1台端末を活用して行きたい国の特徴やよさを主体的に調べる活動を設定する。

〔児童（生徒）の活動〕

- 1人1台端末を活用して、行きたい国の特徴やよさについて調べる。



- 1人1台端末を活用して、行きたい国を紹介する旅行案内を作成する。



〔教師の指導〕

- 児童が興味・関心をもてるよう、自然環境、食生活、歴史及び文化など、行きたい国のよさを主体的に調べる観点を共有する。
- 児童と行きたい国のよさを伝える目的・場面を共有し、効果的に伝えるための工夫について考える時間を設定する。

〔工夫点〕

- 調べた内容を1人1台端末で共有することにより、他者の考えを参考にしながら調べることができるようにする。
- 1人1台端末を活用し、旅行案内の内容を効果的に伝えるための工夫や説明の仕方を交流する時間を設定し、改善できるようにする。

単元の目標の達成に向けた手立ての具体

③外国への興味・関心を高めるため、様々な国のよさについて、社会や世界、他者との関わりに着目して捉えることができるよう、A L Tを効果的に活用する。

〔児童の活動〕

- 国旗カードを活用し、数種類のミニゲームを行い、国名やその国の様々な特徴を知る。
- 児童同士のインタビュー活動を通して、様々な国のよさや調べる際の観点について交流する。
- A L Tによる様々な国の紹介を聞いて、おおよその内容を理解する。

〔教師の指導〕

- Let's Watch の内容の理解を深めるために、補足を加えながら、社会や世界、他者との関わりに着目できるように説明する。
- 他教科で学習した内容を確認しながら、様々な国を紹介する。
- A L Tが、児童と同じ様式で、様々な国の特徴やよさを伝える発表資料を作成し、紹介する。

〔工夫点〕

- インフォメーションギャップを利用し、日本の生活や文化との違いを考えさせる。
- 行きたい国のよさを調べる観点を交流する場面を設定する。
- 児童がA L Tに既習の表現を使って、紹介された国について質問するなど、コミュニケーションを図る時間を設定する。